

経済動向調査レポート

令和2年 第1四半期

(調査対象：令和2年1月～3月)

福崎町商工会

令和2年6月

【目次】

I.はじめに	2
II.兵庫県の経済・雇用情勢	3
1.概況（全体の状況）	3
2.県内の主要業種の概況	7
3.地域の概況	8
III.景況調査	13
1.景況調査について	13
2.概況（全業種）	14
3.業種ごとの集計	17
①製造業（有効調査数：158件）	17
②卸売業（有効調査数：42件）	18
③小売業（有効調査数：57件）	19
④サービス業（有効調査数：62件）	20
⑤建設業（有効調査数：77件）	21
⑥不動産業（有効調査数：26件）	22

I. はじめに

○本レポート作成の目的

地域の経済・消費動向の現状を把握し、その情報を提供することで、小規模事業者が経営方針を明確にし、経営分析、および事業計画の策定に有効活用できるようにし、小規模事業者の売上や利益の増進に繋がるなど経営基盤の強化につなげることを目的とします。

○本レポートの作成方法

福崎町商工会の会員事業所に対して「調査票」の記入を依頼、回収したデータを基に、他の調査や情報とも比較してレポートを作成します。

II 兵庫県の経済・雇用情勢（「兵庫県の経済・雇用情勢」（令和2年4月28日）から引用）

1. 概況（全体の状況）

本県の経済・雇用情勢は、足もとで下押しされており、厳しい状況にある。
 景況等…企業の業況判断は、足もと悪化し、先行きも悪化の見通しである。
 需要…個人消費は、全体として弱い動きとなっている。
 輸出は、減少している。設備投資は、高水準となっている。
 生産…生産活動は、減少している。
 雇用…有効求人倍率は、低下している。賃金は、弱めの動きとなっている。
 金融…倒産件数は、前年を下回った。

主要指標の推移

①景況

現状（良い－悪い）構成比（%ポイント）

区分	R1.6月	R1.9月	R1.12月	R2.3月（現在）	R2.6月（予測）
全産業	5	▲1	▲3	▲9	▲23
大企業	8	8	7	2	▲5
中堅企業	▲1	▲1	▲5	▲9	▲24
中小企業	▲5	▲5	▲7	▲15	▲31
うち製造業	▲3	▲13	▲15	▲17	▲31
うち非製造業	14	13	12	0	▲14

（出所）県内企業短期経済観測調査（日本銀行神戸支店）

②需要

項目	30年度	R1年度	R1.11月	12月	R2.1月	R2.2月	3月
商業販売額：億円	17,600	—	1,417	1,739	1,419	1,356	—
（前年度比増減率%）	(▲0.8)	(—)	(▲0.9)	(▲2.8)	(▲0.3)	(+6.0)	(—)
乗用車販売台数：台	176,883	—	12,756	11,438	12,720	14,767	—
（前年度比増減率%）	(+1.1)	(—)	▲11.4	▲15.8	▲12.2	▲11.5	(—)
新設住宅着工数：戸	31,774	—	2,513	2,964	2,574	1,976	—
（前年度比増減率%）	(▲5.0)	(—)	(▲10.9)	(+4.6)	(+8.9)	(▲32.5)	(—)
神戸港輸出額：億円	58,596	53,653	4,417	4,670	3,582	4,213	4,845
（前年度比増減率%）	(+2.9)	(▲8.4)	(▲10.8)	(▲7.2)	(▲9.4)	(▲15.6)	(▲13.7)

（出所）商業動態統計（経済産業省）、新車登録速報（日本自動車販売協会連合会兵庫県支部）、軽自動車新車届出状況（兵庫県軽自動車協会）、住宅着工統計（国土交通省）、神戸港貿易概況（神戸税関）（商業動態統計調査の前年度比増減率は全店ベース）

項目	28年度	29年度	30年度	R1年度（計画）	R2年度（計画）
設備投資額 前年度比増減率：%	+24.4	▲8.1	+0.8	+11.8	+13.2

③生産

項 目	29 年度	30 年度	R1.10 月	11 月	12 月	R2.1 月	2 月
鉱工業生産指数：H27=100 (前月比増減率%)	103.2 (+3.7)	103.9 (+0.7)	113.7 (+12.2)	100.8 (▲11.3)	100.2 (▲0.6)	103.8 (+3.6)	96.6 (▲6.9)

(月次は季節調整値、年度は原指数。年度増減率は前年度比較)

(出所) 兵庫県鉱工業指数 (県統計課)

④雇用

項 目	29 年度	30 年度	R1.10 月	11 月	12 月	R2.1 月	2 月
有効求人倍率(季節調整値)：倍	1.32	1.45	1.40	1.40	1.40	1.31	1.26
新規求人数(原数値)：人 (前年度比増減率%)	34,700 (+6.8)	36,004 (+3.8)	37,631 (▲9.2)	34,448 (▲6.8)	31,315 (+1.2)	32,350 (▲20.2)	32,491 (▲17.6)
現金給与総額：円 (前年度比増減率%)	298,025 (+2.1)	304,738 (+2.2)	269,912 (+2.4)	285,787 (+1.3)	545,382 (+4.3)	267,689 (▲0.8)	— (—)

(有効求人倍率の年度値は原数値、現金給与総額の年度値は年平均) (出所) 一般職業紹介状況 (厚生労働省兵庫労働局)、毎月勤労統計調査地方調査 (県統計課)

⑤金融

項 目	30 年度	R1 年度	R1.11 月	12 月	R2.1 月	2 月	3 月
企業倒産件数：件 (前年度比増減率%)	427 (▲8.6)	471 (10.3)	43 (+13.2)	48 (+71.4)	35 (▲31.4)	32 (+28.0)	35 (▲25.5)
企業倒産負債総額：億円 (前年度比増減率%)	578 (▲8.6)	498 (▲13.9)	27 (▲19.6)	18 (▲71.8)	68 (+93.6)	36 (+3.2)	24 (▲87.2)

(出所) 県内県企業倒産状況 (東京商工サーチ神戸支店)

(参考1)全国景気の現状についての内閣府のコメント

景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、急速に悪化しており、極めて厳しい状況にある。

- ・個人消費は、感染症の影響により、急速に減少している。
- ・設備投資は、おおむね横ばいとなっている。
- ・輸出は、感染症の影響により、このところ減少している。
- ・生産は、感染症の影響により、減少している。
- ・企業収益は、感染症の影響により、急速に減少している。
- ・企業の業況判断は、感染症の影響により、急速に悪化している。
- ・雇用情勢は、感染症の影響により、足下では弱い動きがみられる。
- ・消費者物価は、このところ横ばいとなっている。

先行きについては、感染症の影響による極めて厳しい状況が続くと見込まれる。また、感染症が内外経済をさらに下振れさせるリスクに十分注意する必要がある。金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。

(令和2年4月23日 内閣府「月例経済報告」)

(参考2)県内景気の現状についての日本銀行神戸支店のコメント

管内の景気は、新型コロナウイルス感染症の拡大などの影響により、このところ停滞している。

輸出は減少している。公共投資は増加している。個人消費は、新型コロナウイルス感染症の拡大などの影響により、このところ弱めの動きとなっている。設備投資は高水準で推移しているものの、慎重化の動きもみられている。住宅投資は横ばい圏内の動きとなっている。

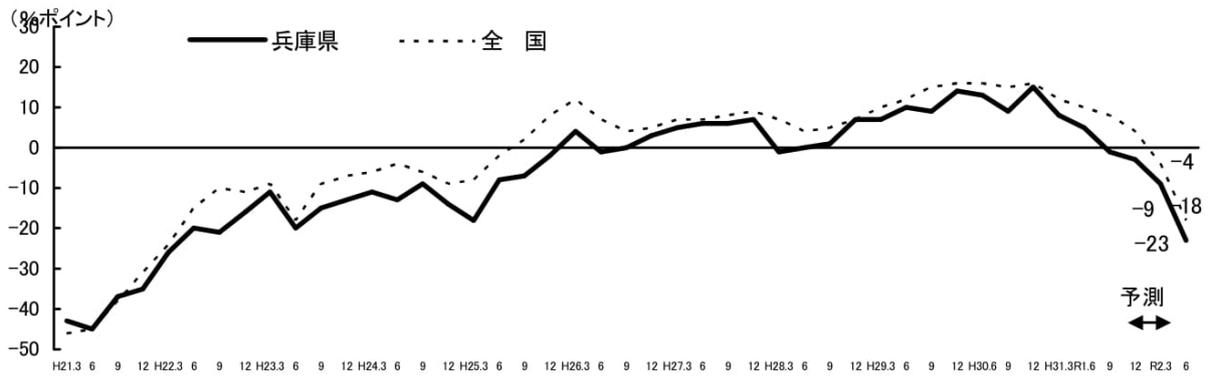
こうした需要動向を映じて、生産は弱めの動きが続いており、足もとでは新型コロナウイルス感染症の拡大の影響もみられている。また、労働需給は全体としては引き締まっているが、足もとでは一部に新型コロナウイルス感染症の拡大の影響がみられている。雇用者所得は緩やかに増加している。物価は前年を上回った。

こうした中、3月短観における管内企業の景況感(全産業)は足もと悪化した。先行きも悪化する見通し。

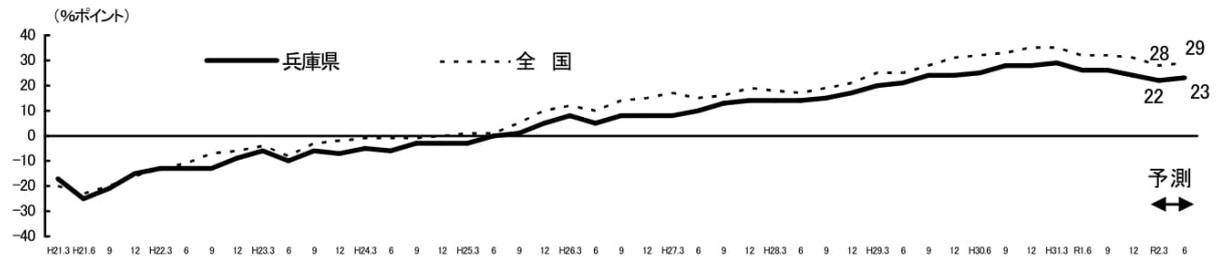
(令和2年4月1日 日本銀行神戸支店「管内金融経済概況」)

日本銀行神戸支店県内企業短期経済観測調査結果の推移

業況判断D I (良い-悪いの推移)



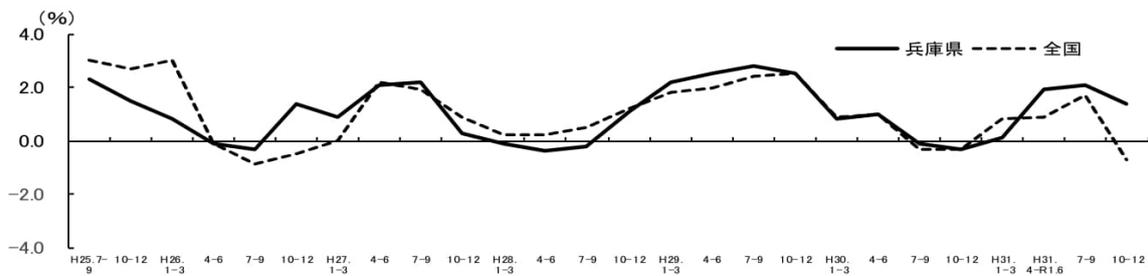
雇用人員判断D I (不足-過剰の推移)



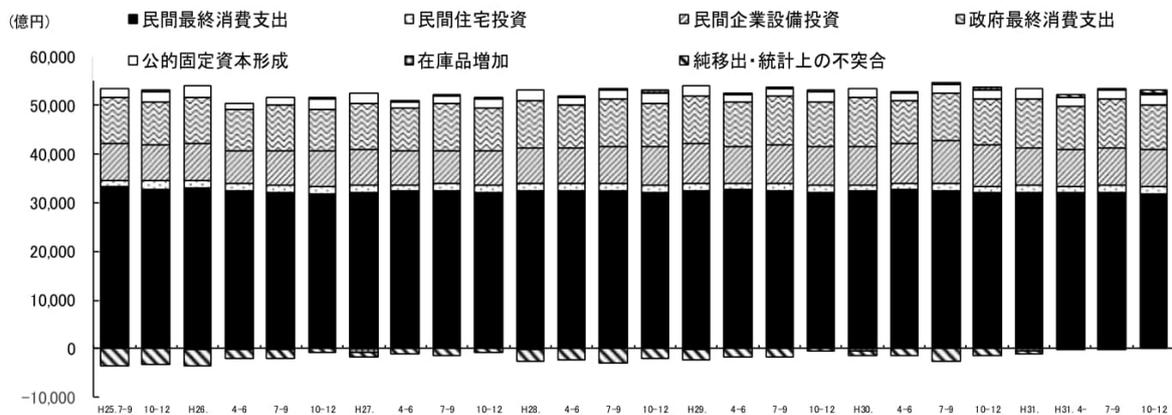
出所：令和2年3月全国・県内企業短期経済観測調査(日本銀行、同神戸支店)

GDP ⇒ 実質GDP (R1.10~12期)は、民間最終消費支出及び民間企業設備投資が引き続きマイナスで推移したものの、民間住宅投資、政府最終消費支出及び公的固定資本形成が引き続きプラスで推移したため、対前年同期比1.4%増となった。

四半期別GDP(実質)増減率



四半期別兵庫県GDP(実質)



出所：四半期別GDP速報(内閣府)、四半期別県内GDP速報(県統計課)

兵庫県・四半期別GDP(実質)(億円、増減率%)

	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
GDP(実質)	199,532	201,737	203,000	207,396	207,577
前年度比	0.5	1.1	0.6	2.2	0.1

	H29.10-12	H30.1-3	H30.4-6	H30.7-9	H30.10-12	H31.1-3	H31.4-R1.6	R1.7-9	R1.10-12
GDP(実質)	52,494	52,297	51,185	51,912	52,342	52,325	52,154	53,022	53,064
前年度比	2.5	0.8	1.0	▲0.1	▲0.3	0.1	1.9	2.1	1.4

兵庫県・四半期別GDP(名目)(億円、増減率%)

	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
GDP(名目)	203,040	208,294	209,378	213,288	213,097
前年度比	2.5	2.6	0.5	1.9	▲0.1

	H29.10-12	H30.1-3	H30.4-6	H30.7-9	H30.10-12	H31.1-3	H31.4-R1.6	R1.7-9	R1.10-12
GDP(名目)	54,730	53,181	53,131	52,472	54,244	53,289	54,003	53,748	55,282
前年度比	2.2	1.2	1.0	▲0.6	▲0.9	0.2	1.6	2.4	1.9

注1) 今後公表される年度確報値とのあいだに若干の差異が生じる場合がある。

また、推計精度をより高めるため、各計数は過去にさかのぼって変更されることがある。

前年度比は原数値の増減を示す。

注2) 数値は、平成23年基準値となっている。

注3) 29年度までの年度数値は「県民経済計算」(県統計課)

2. 県内の主要業種の概況

業種	概況
化学工業	<p>新型コロナウイルス感染症の影響で、今後、海外からの原料調達等に影響が及ぶことを懸念している。</p> <p>働き方改革の一環として、テレビ会議の活用や在宅勤務制度の促進等に取り組んでおり、新型コロナウイルス感染症の従業員対策としても取組を進めていく。</p> <p>また、RPAを活用した数値の集計等、生産現場での業務改善に取り組んでおり、生産性が向上している。</p>
電気機械製造業	<p>景況感はさほど良くない。新型コロナウイルス感染症の影響で、一部調達における納期の遅れや営業活動の自粛等が発生しており、今後影響が拡大することを懸念している。</p> <p>2020年度の設備投資については、電力会社へ提供する新規ソフトウェアの開発が具体化することにより、2019年度より20%程度増加する計画である。</p> <p>また、RPAを活用し、生産ラインにおける作業データを自動で集計</p>

	し、業務の効率化・省力化を図っている。今後さらに、AI・IoTを活用することで、より一層の生産性向上につなげていく。
宿 泊 業	<p>新型コロナウイルス感染症の影響で、1~3月期の売上は約4割減少した。宴会や宿泊はキャンセルが相次いでおり、インバウンドを含む団体予約は全てキャンセルとなった。</p> <p>雇用人員については、これまで不足感があり、アルバイトの賃金アップ等の対策を実施したが、新型コロナウイルス感染症の発生後は過剰となっている。館内の衛生管理、従業員の健康管理の徹底に努めるとともに、経費削減の取組を実施していく。</p>
そ の 他 製 造 業 (スポーツ用品)	<p>新型コロナウイルス感染症の世界的拡大の影響で、中国では直営店の約6割が休業しており、国内ではインバウンド減少により2~3月の売上が減少した。国内外の営業所では、約8割の従業員が在宅勤務を行っており、感染症予防の取組を強化している。自社ECサイトは好調で、対前年度比で約5割売上が増加している。</p> <p>また、AIを導入しランニングフォーム等の分析を行い、新製品の開発に取り組んでいる。</p>

3. 地域の概況

地域	業種	概況
神戸	食 料 品 製 造 業	<p>売上は対前年比横ばい程度で、現状の景況はまずまずであった。新型コロナウイルス感染症の影響により、特にインバウンド需要の大きい店舗の落ち込みが激しい。ネット注文の増加では補いきれず、先行きの景況は悪い。</p> <p>従業員の健康管理を第一に考えて行動し、営業時間の短縮や、少ない人事での店舗運営に取り組む。</p>
	飲 料 ・ た ば こ ・ 飼 料 製 造 業	<p>暖冬により今冬の清酒出荷量が伸びず、景況感はやや悪い。新型コロナウイルス感染症の影響は現状では大きくないが、今後、業務用の出荷が減少すると思われる。</p> <p>感染症対策を優先し、酒蔵見学や蔵開き、セミナー等の直近開催分はすべて中止とした。社員の勤務面については、時差出勤、在宅勤務、会社独自の休暇制度活用等の対策を講じている。</p> <p>商品の魅力向上のため、フラッグシップ商品を一新してブランド価値の向上を図り、新規顧客の獲得に注力していく。</p>
阪神南	飲 料 ・ た ば こ ・ 飼 料 製 造 業	<p>出荷シェアが高い一般酒の落ち込みが大きく、業界全体として売上維持が厳しい状況が続いている。従来通りの地方蔵では経營業況が厳しいため、新たなブランドの創出や、海外輸出も盛んに行われている。</p>

		<p>国内における出荷量は昨年度に引き続き減少し、今年度は特にギフト商品の売上減少が大きな要因となった。海外輸出は伸びているものの、韓国での日本製品の不買運動は、大きな影響を及ぼしている。</p> <p>新型コロナウイルス感染症による影響で、外食を控える傾向が見られ、飲食店向けの酒の売上額は引き続き落ち込んでいる。3月上旬に量販店向けの酒の売上額が対前年比約2倍となったが、3月下旬頃からは、買い込み客の動きは落ち着いている。</p>
	はん用機器具業 製造	<p>鉄鋼業界関連事業で全体的に収益が悪化しており、製造設備の集約・再編を行っている。また、電力業界関連事業では、環境問題で火力発電所に逆風が吹いており、設備等の受注は厳しい状況となっている。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響は今のところ大きくないが、生産・営業とも行動が制限されており、今後影響が拡大することを懸念している。また、中国現地工場の生産活動は再開されたが、予断を許さない状況である。</p>
阪神北	繊維工業	<p>米中貿易摩擦による景気減速が続いているため、工場の製造ラインの潤滑材に使用されるフェルトの需要が大きく減少している。また、毎年2~3月に行われる工業用フィルターや耐熱フィルター等の定期交換を、収益の悪化を理由に見合わせる企業が多く、売上が大きく減少している。</p> <p>加えて、新型コロナウイルス感染防止対策の影響で、各地で予定されていた展示会等のイベントが中止となったことにより、会場のカーペットの売上が減少している。</p>
	各種商品小売業	<p>記録的な暖冬の影響で、衣料品関係の売上は減少した。売上の大半は、近隣住民の食料品購入であるため、2月までは新型コロナウイルス感染症による売上への影響も小さかった。3月以降、新型コロナウイルス感染防止のため営業時間を短縮したことにより、仕事帰りに惣菜を購入する客が激減し、売上が大きく減少している。</p>
東播磨	化学工業	<p>半導体関連では、下降気味であった需要に回復の兆しが見えつつある一方、医薬品関連では、順調であった中国への輸出が昨年秋頃から減少し、弱含んでいる。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響は、現状では大きくないものの、今後中国向け製品の減少が見込まれる。</p>

	鉄 鋼 業	<p>米中間の貿易摩擦や中国の景気減速を背景に鉄鋼需要が低迷し、自動車向け製品を中心に需要が減少している。加えて、主原料価格の上昇が収益へのマイナス要因となっている。</p> <p>新型コロナウイルス感染症については、生産体制への支障は生じていないものの、今後業績への影響が生じることを懸念している。</p>
北播磨	宿 泊 業	<p>新型コロナウイルス感染症の影響で、宿泊・宴会・レストラン利用客、すべてにおいてマイナスの影響を受けている。歓送迎会や新入職員研修等の利用客が増える時期だが、現在4月上旬までのキャンセル依頼を多く受けており、それ以後も見通しがつかない状況である。</p> <p>感染症対策として、朝食のバイキングを中止し、スタッフはマスク着用を徹底している。</p>
	繊維衣服等卸売業	<p>暖冬に加え、新型コロナウイルス感染症の影響で、店頭への客足が途絶え、売上が伸び悩んでいる。新商品を発表・PRする機会がなくなっている。</p> <p>今年4月の新規採用は、計画通り3名の採用ができた。人材育成のため、さらに若干名の採用を考えており、中途採用にも尽力していきたい。</p>
中播磨	一 般 機 械 器 具 製 造 業	<p>景況感は、第4四半期に上向きになる傾向があり、売上利益とも増加している一方で、採算性の良い金融機関のつり銭交換機の売上が、貨幣の変更時期を控え伸び悩み、利益率が前年比で大きく減少した。</p> <p>また、海外事業では海外の有力な代理店を買収し、営業、メンテナンスを直接請負うことで、収益率向上と販路拡大を推進している。</p> <p>雇用については、製造部門は足りているが、顔認証システムの開発等のIT部門や営業部門の人材が不足しており、即戦力となる人材を中途採用している。</p>
	化 学 工 業	<p>中国での競争激化で、吸水性樹脂の価格の下落、販売数量の減少により先行き不透明であり予断を許さない状況である。新たなマーケットとして、中東、アフリカ、インドでの市場拡大に注力し、年間売上の補填を図る。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響で、一部製品では新型コロナウイルス感染症の終息後の急回復に対応するため、在庫の積み増しを実施している。</p>
西播磨	宿 泊 業	<p>2月までの予約は非常に好調であったが、新型コロナウイルス感染症の影響で、3月に入ってからキャンセル</p>

		<p>が増え、対前年比で2~3割減少している。4月以降の予約状況も前年同月で2~3割減少している。</p> <p>個人客が多いため、団体客のキャンセルは少なく、休日は満室の状況が続いている。4月以降も新プランを積極的に打ち出していく。</p>
	化学工業	<p>景況感はさほど良くない。暖冬による凍結防止剤の不調や、米中貿易摩擦や対韓国輸出規制強化の影響で、取引先の商品の動きが悪い状態が続いており、受注が減少している。通常なら4月頃から動き始める熱中症対策関連商品も、新型コロナウイルス感染症の影響でイベント中止が相次いでおり、見通しは悪い。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症の影響で、中国からの原材料の輸入が滞っており、在庫で対応している。</p>
但馬	金融業	<p>管内企業を業種別に見ると、製造業では、人手不足解消に向けた設備投資需要があり、景況感は悪くはない。卸売業・小売業、サービス業では、人口減少で需要が落ち込んでおり、非常に苦しい状況である。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響で、卸売業・小売業、サービス業を中心に融資相談が増えている。</p>
	金属製品業 製造業	<p>製品の受注も順調で、生産体制の増強も終えたこともあり、景況感は良い。</p> <p>雇用人員は確保できているものの、生産体制を増強したことにより、製造部門が不足している。採用活動を引き続き行うと同時に、積極的な省力化投資も行っていく。</p> <p>3月上旬時点で新型コロナウイルス感染症の影響はないが、先行きを懸念している。</p>
丹波	金融業	<p>新型コロナウイルス感染症の影響で先行きが見通せない中、本来は工場増設等の設備投資を計画していた企業も手控える動きが生じている。</p> <p>観光バスのキャンセルや中国が部品調達を行っている製造業、建設業を中心に影響が生じており、一部では資金繰り悪化の話も出ているため、現状の把握に努め、効果的な支援を図っていく。</p>
	各種商品卸売業	<p>1~2月は対前年比で15%程度売上が減少した。昨年度が比較的好調だったこともあるが、今年は暖冬の影響により、鍋料理の消費が落ちている。3月は新型コロナウイルス感染症の影響で、飲食店の団体客を中心に予約キャンセルが相次ぎ、売上は対前年比で20%減少する見込みである。</p>

		<p>当面は、運転資金の緊急融資を受けるなど、経営維持のための対策を検討する。</p>
淡路	総合工事業	<p>民間住宅の新築やリフォーム、工場の改装などの受注は堅調であるものの、資材の高騰や人件費の上昇により利益が伸びていないため、景況感はさほど良くない。</p> <p>雇用については、現場監督等の技術者が慢性的に不足しており、受注量が制限されている。求人募集をしても応募がなく、遠方からの派遣や社員の時間外労働に頼っている状況である。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響で、海外から住宅設備機器の入荷遅れが出始めており、今後の影響拡大を懸念している。</p>
	宿泊業	<p>2月後半までの予約は、昨年を上回って推移していた。3月に入ると、外出自粛の影響でキャンセルが相次いでおり、宿泊客は対前年度比で46%減少している。客層としては、個人客が中心で、インバウンドは全体の1割未満である。6月までの予約状況は半減しており、団体客の日帰りバスツアーはほぼキャンセルとなっている。</p> <p>雇用については、特に調理部門で不足感があり、求人募集をしても応募がない状態が継続している。</p>

Ⅲ. 景況調査

Ⅰ. 景況調査について

○『D.I (ディフュージョン・インデックス)』による分析

D.I. とは、景気の各項目事項について、「良い」と感じている企業の割合から、「悪い」と感じている企業の割合を引いた値を示します。右の表の場合、「良い」20%－「悪い」30%＝－10%となり、D.I. 値は－10ポイントと示すことができます。

業況	件数	構成比
良い	10 件	20%
不変	25 件	50%
悪い	15 件	30%
合計	50 件	100%

○引用する調査書と有効回答数について

本レポートの作成にあたり、但陽信用金庫が四半期毎に実施する「景気動向調査」の調査結果を引用しています。

(対象期間内における有効回答数)

	エリア	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
景気動向調査 (但陽信用金庫)	取引先全地域	422 件					
	東播磨地域 ^{※1}	170 件					
	姫路地域 ^{※2}	149 件					
	朝来・神崎地域 ^{※3}	83 件					
景気動向調査 ※業種別調査 (但陽信用金庫)	取引先全地域	158 件	42 件	57 件	62 件	77 件	26 件
	東播磨地域 ^{※1}	65 件	14 件	20 件	24 件	30 件	17 件
	姫路地域 ^{※2}	48 件	24 件	23 件	19 件	28 件	7 件
中小企業景況調査 (福崎町商工会)	-	1 件	0 件	2 件	3 件	1 件	0 件

※1…加古川市、高砂市、稲美町、播磨町

※2…姫路市

※3…朝来市、神河町、市川町、福崎町

○業種の分類について

本レポートでは、飲食・宿泊業は「サービス業」とあわせて集計しています。

2. 概況（全業種総合）

《但陽信用金庫》

概況（全業種）	(422社) 全地域			(170社) 東播磨地域			(149社) 姫路地域			(83社) 朝来・神崎地域			
	2019年 10月～12 月期	2020年1 月～3月期 (今回)	2020年4 月～6月期 (予想)										
	業況 D.I.	▲4.46	▲16.63	▲31.12	▲8.52	▲14.79	▲31.95	9.46	▲12.75	▲26.85	▲18.07	▲22.89	▲37.35
売上額 D.I.	2.81	▲20.38	▲25.83	▲0.57	▲15.88	▲27.65	13.42	▲22.15	▲26.17	▲9.64	▲24.10	▲22.89	
収益 D.I.	0.47	▲19.43	▲24.88	▲0.57	▲15.29	▲28.82	10.74	▲19.46	▲21.48	▲15.66	▲25.30	▲24.10	
資金繰り D.I.	▲0.70	▲3.80	▲6.41	▲0.57	0.00	▲4.12	1.34	0.67	▲0.67	▲6.02	▲16.87	▲18.07	
前年比残業時間 D.I.	1.17	▲4.03	▲6.64	▲2.84	▲6.47	▲7.06	0.67	▲1.34	▲5.37	10.84	▲1.20	▲8.43	
人手過不足 D.I.	▲39.44	▲33.25	▲29.29	▲41.14	▲36.47	▲32.94	▲38.26	▲32.43	▲29.25	▲38.55	▲27.71	▲19.28	
前年 同月比	売上額	0.94	▲21.43	—	▲4.57	▲22.35	—	16.11	▲13.42	—	▲15.85	▲30.49	—
	収益	▲1.88	▲20.29	—	▲0.57	▲17.06	—	7.38	▲14.19	—	▲20.73	▲34.15	—

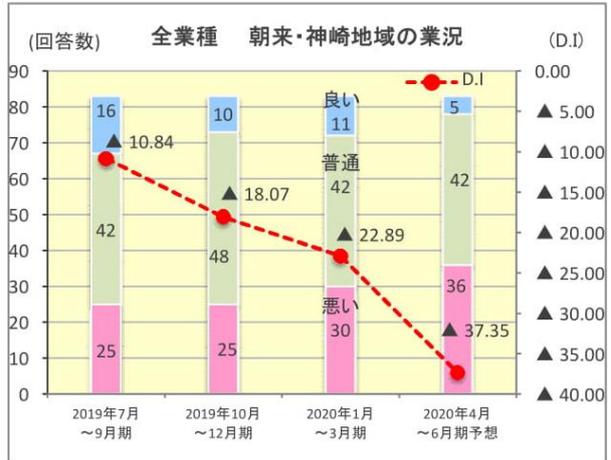
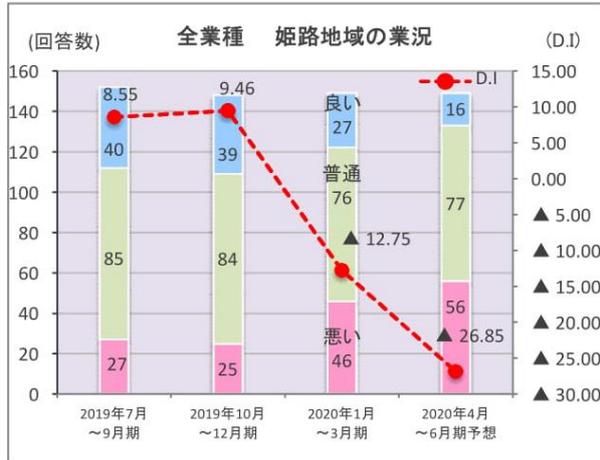
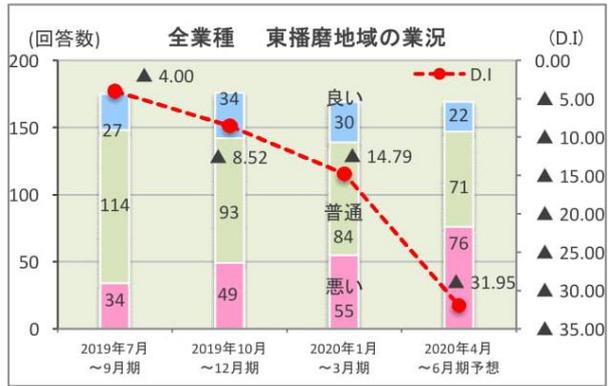
[2020年1～3月期実績]：全地域でさらに低下するという厳しい状況。

当期の全地域・全業種における業況 D.I は▲16.63となり、前期比 12.17 ポイント低下しました。地域別では、東播磨地域は、前期比 6.27 ポイント低下の▲14.79。姫路地域は前期比 22.21 ポイントと大幅に低下し▲12.75、朝来・神崎地域は前期比 4.82 ポイント低下の▲22.89となるなど、全地域で大幅に低下しました。業種別では、サービス業は前期の予想通り横ばいながら、製造業・不動産業・小売業・卸売業・建設業はいずれも大幅に低下しています。人手過不足 D.I は▲33.25 と、前期比 6.19 ポイント上昇し、人手不足感がやや緩和しました。

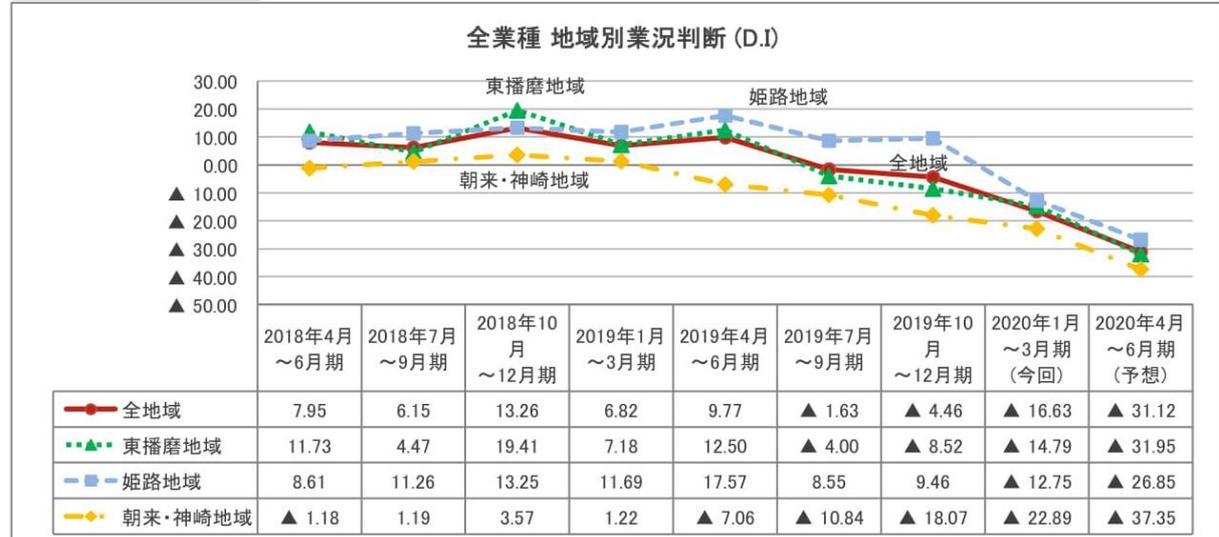
[2020年4月～6月期予想]：全地域でさらに低下する予想。

来期の全地域・全業種における予想業況 D.I は▲31.12 で、今期を 14.49 ポイント下回る予想です。東播磨地域では、今期比 17.16 ポイント低下の▲31.95。姫路地域では今期比 14.1 ポイント低下の▲26.85 ポイント。朝来・神崎地域では今期比 14.46 ポイント低下の▲37.35 と全ての地域で大きく悪化する予想となっています。業種別では、小売業が横ばい、製造業・サービス業・不動産業・卸売業・建設業は大幅に低下すると予想しています。人手過不足 D.I は▲29.29 と今期からさらに 3.96 ポイント緩和するものと予想されています。12月に中華人民共和国湖北省武漢市において発生した新型コロナウイルスの世界的な感染が、人や物の停滞を引き起こし、国内のみならず全世界の経済に大きな打撃を与えています。

地域別業況



地域別業況の推移



《福崎町商工会》

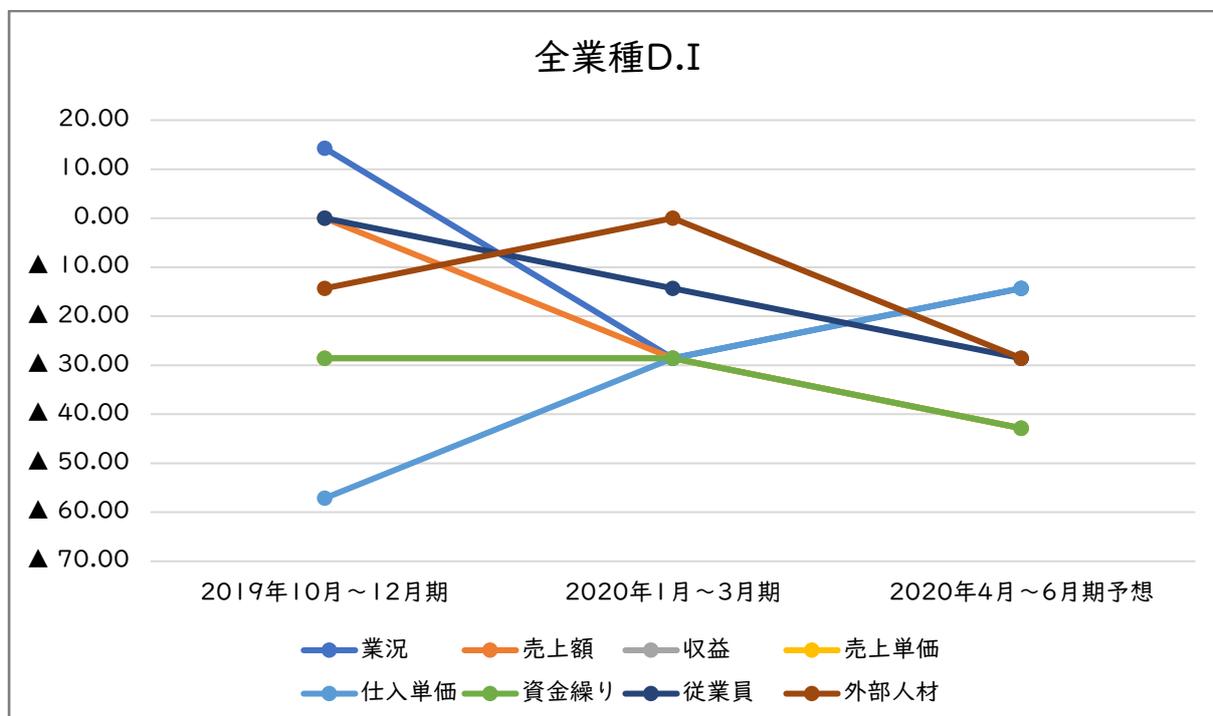
(全業種)	2019年 10月～12月期	2020年 1月～3月期	2020年 4月～6月期予想
業況	14.29	▲28.57	▲14.29
売上額	0.00	▲28.57	▲42.86
収益	▲28.57	▲28.57	▲42.86
売上単価	▲28.57	▲28.57	▲42.86
仕入単価	▲57.14	▲28.57	▲14.29
資金繰り	▲28.57	▲28.57	▲42.86
従業員	0.00	▲14.29	▲28.57
外部人材	▲14.29	0.00	▲28.57

[2020年1～3月期実績]：全体的に低下傾向の厳しい状況

福崎町商工会では業種の異なる7事業所を対象に、中小企業景況調査を4半期ごとに行っています。当期の業況D.Iは▲28.57となり、前期の14.29ポイントから42.86ポイント低下しました。また、売上額・従業員に関するD.Iが低下と厳しい状況、一方で仕入単価・外部人材に関するD.Iは上昇しました。その他のD.Iは横ばいとなっています。

[2020年4～6月期予想]：更に減少の予想

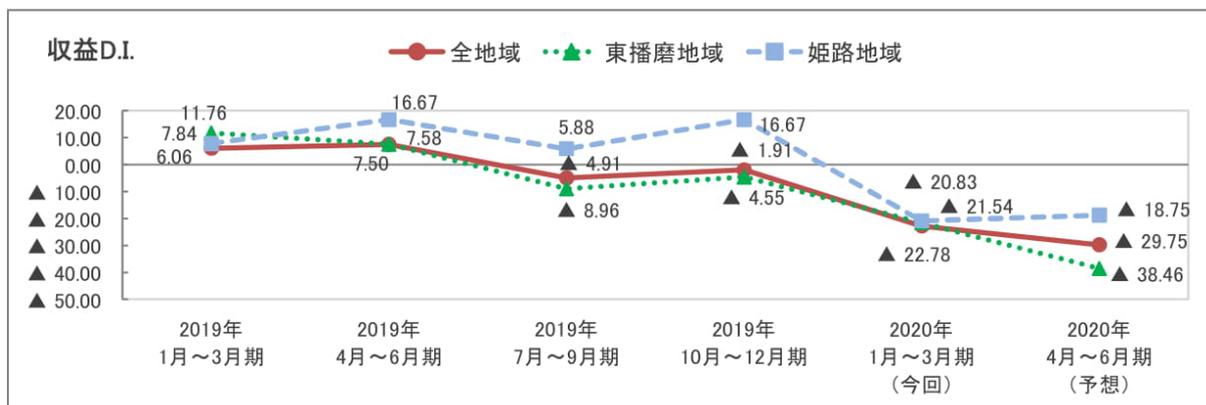
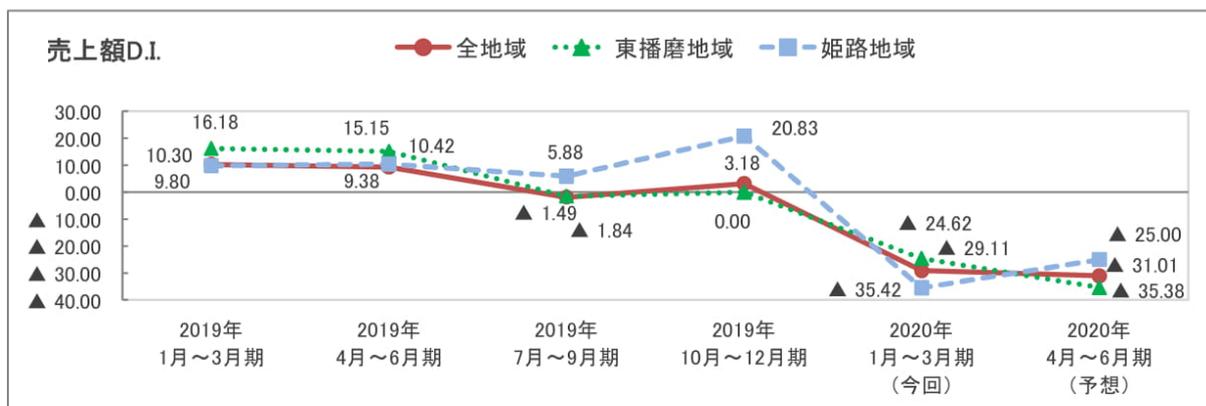
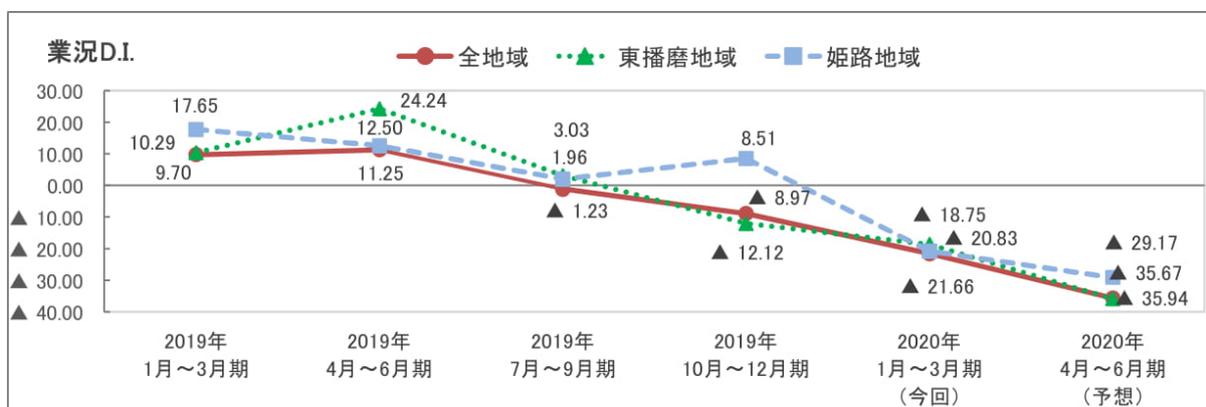
来期の予想業況D.Iは▲14.29で、今期を14.28上回る予想です。ただし、マイナスであることには変わりなく、依然厳しい業況の予想です。売上額・収益・売上単価・資金繰り・従業員・外部人材に関するD.Iが低下し、厳しい状況におかれる予想です。



3. 業種ごとの集計《但陽信用金庫》

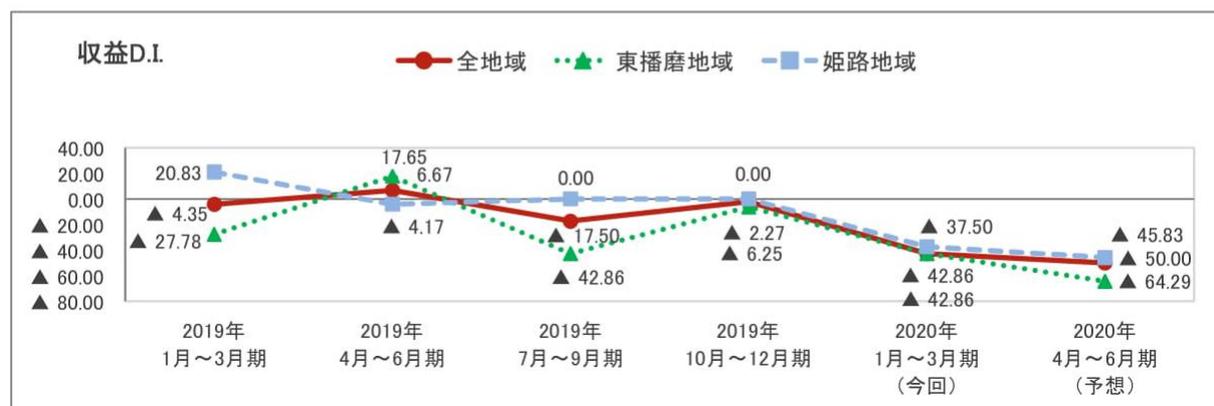
(1) 製造業

製造業	(158社) 全地域			(65社) 東播磨地域			(48社) 姫路地域			
	2019年10月~12月期	2020年1月~3月期(今回)	2020年4月~6月期(予想)	2019年10月~12月期	2020年1月~3月期(今回)	2020年4月~6月期(予想)	2019年10月~12月期	2020年1月~3月期(今回)	2020年4月~6月期(予想)	
	業況D.I.	▲ 8.97	▲ 21.66	▲ 35.67	▲ 12.12	▲ 18.75	▲ 35.94	8.51	▲ 20.83	▲ 29.17
売上額D.I.	3.18	▲ 29.11	▲ 31.01	0.00	▲ 24.62	▲ 35.38	20.83	▲ 35.42	▲ 25.00	
受注残D.I.	▲ 0.64	▲ 25.32	▲ 28.48	▲ 3.03	▲ 26.15	▲ 29.23	14.58	▲ 29.17	▲ 22.92	
収益D.I.	▲ 1.91	▲ 22.78	▲ 29.75	▲ 4.55	▲ 21.54	▲ 38.46	16.67	▲ 20.83	▲ 18.75	
販売価格D.I.	1.91	▲ 5.70	▲ 7.59	7.58	▲ 1.54	▲ 3.08	4.17	▲ 6.25	▲ 6.25	
原材料価格D.I.	15.92	6.96	3.16	12.12	7.69	4.62	22.92	6.25	8.33	
原材料在庫D.I.	0.00	▲ 6.37	▲ 10.83	4.55	▲ 1.54	▲ 6.15	2.08	▲ 4.17	▲ 10.42	
資金繰りD.I.	4.46	▲ 0.64	▲ 5.10	0.00	0.00	▲ 4.62	16.67	10.42	4.17	
前年比残業時間D.I.	▲ 1.91	▲ 8.23	▲ 7.59	▲ 12.12	▲ 13.85	▲ 10.77	6.25	2.08	2.08	
人手過不足D.I.	▲ 36.54	▲ 29.75	▲ 26.11	▲ 30.77	▲ 21.54	▲ 20.00	▲ 47.92	▲ 39.58	▲ 34.04	
設備D.I.	▲ 18.47	▲ 12.66	▲ 11.46	▲ 16.67	▲ 10.77	▲ 10.77	▲ 14.58	▲ 10.42	▲ 6.25	
設備投資実施割合	35.37	28.48	29.63	26.87	22.39	25.76	36.73	28.00	22.45	
前年同期比	売上額	▲ 5.73	▲ 28.03	—	▲ 12.12	▲ 29.23	—	20.83	▲ 22.92	—
	収益	▲ 8.28	▲ 25.00	—	▲ 6.06	▲ 26.15	—	8.33	▲ 12.77	—



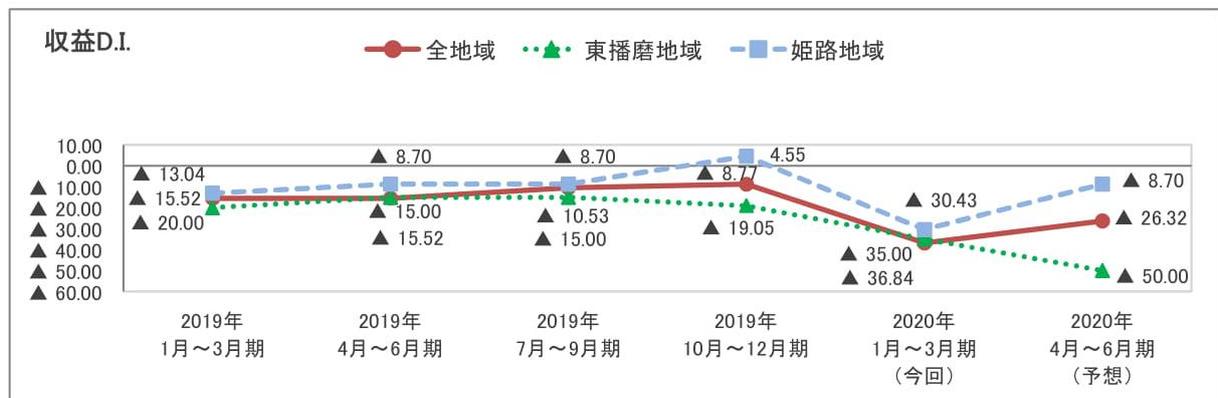
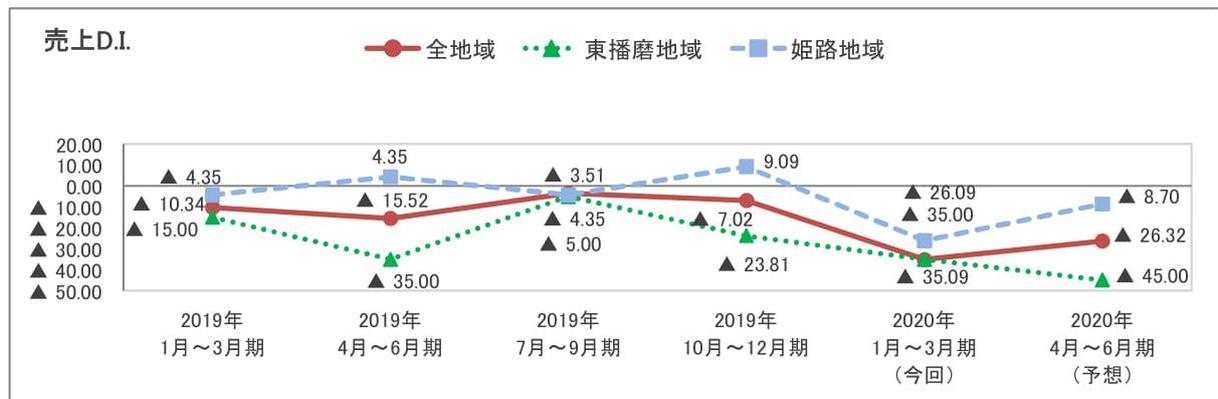
(2) 卸売業

卸売業	(42社) 全地域			(14社) 東播磨地域			(24社) 姫路地域			
	2019年10月~12月期	2020年1月~3月期(今回)	2020年4月~6月期(予想)	2019年10月~12月期	2020年1月~3月期(今回)	2020年4月~6月期(予想)	2019年10月~12月期	2020年1月~3月期(今回)	2020年4月~6月期(予想)	
業況D.I.	▲ 11.36	▲ 35.71	▲ 61.90	▲ 31.25	▲ 50.00	▲ 78.57	4.17	▲ 25.00	▲ 54.17	
売上額D.I.	▲ 4.55	▲ 42.86	▲ 57.14	▲ 12.50	▲ 42.86	▲ 64.29	4.17	▲ 37.50	▲ 58.33	
収益D.I.	▲ 2.27	▲ 42.86	▲ 50.00	▲ 6.25	▲ 42.86	▲ 64.29	0.00	▲ 37.50	▲ 45.83	
販売価格D.I.	6.82	▲ 19.05	▲ 16.67	▲ 18.75	▲ 21.43	▲ 14.29	25.00	▲ 16.67	▲ 16.67	
仕入価格D.I.	18.18	2.38	▲ 2.38	6.25	▲ 7.14	0.00	29.17	12.50	0.00	
在庫D.I.	6.82	0.00	▲ 4.76	12.50	0.00	0.00	4.17	4.17	▲ 4.17	
資金繰りD.I.	▲ 13.64	▲ 26.19	▲ 33.33	▲ 6.25	▲ 21.43	▲ 35.71	▲ 25.00	▲ 29.27	▲ 29.17	
前年比残業時間D.I.	▲ 2.27	0.00	▲ 4.76	▲ 6.25	0.00	▲ 7.14	4.17	4.17	▲ 4.17	
人手過不足D.I.	▲ 20.45	▲ 26.19	▲ 23.81	▲ 37.50	▲ 35.71	▲ 35.71	▲ 8.33	▲ 25.00	▲ 20.83	
設備D.I.	▲ 18.18	▲ 14.29	▲ 11.90	▲ 25.00	▲ 14.29	▲ 7.14	▲ 16.67	▲ 16.67	▲ 16.67	
設備投資実施割合	20.00	17.78	22.73	29.41	26.67	21.43	16.67	15.38	23.08	
前年同期比	売上額	▲ 11.36	▲ 33.33	-	▲ 31.25	▲ 50.00	-	4.17	▲ 20.83	-
	収益	▲ 11.36	▲ 38.10	-	▲ 18.75	▲ 42.86	-	0.00	▲ 33.33	-
	販売価格	6.82	▲ 14.29	-	0.00	▲ 21.43	-	12.50	▲ 8.33	-



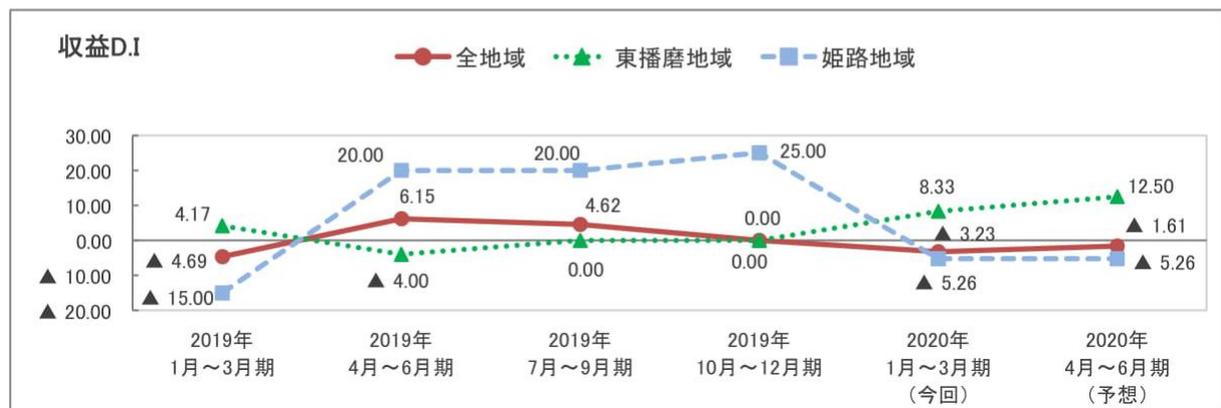
(3) 小売業

小売業	(57社) 全地域			(20社) 東播磨地域			(23社) 姫路地域			
	2019年10月~12月期	2020年1月~3月期(今回)	2020年4月~6月期(予想)	2019年10月~12月期	2020年1月~3月期(今回)	2020年4月~6月期(予想)	2019年10月~12月期	2020年1月~3月期(今回)	2020年4月~6月期(予想)	
業況D.I.	▲ 15.79	▲ 35.09	▲ 35.09	▲ 28.57	▲ 35.00	▲ 50.00	4.55	▲ 26.09	▲ 17.39	
売上額D.I.	▲ 7.02	▲ 35.09	▲ 26.32	▲ 23.81	▲ 35.00	▲ 45.00	9.09	▲ 26.09	▲ 8.70	
収益D.I.	▲ 8.77	▲ 36.84	▲ 26.32	▲ 19.05	▲ 35.00	▲ 50.00	4.55	▲ 30.43	▲ 8.70	
販売価格D.I.	7.02	▲ 8.77	▲ 7.14	▲ 4.76	▲ 25.00	0.00	27.27	4.35	0.00	
仕入価格D.I.	14.29	0.00	0.00	4.76	▲ 20.00	15.00	27.27	13.04	0.00	
在庫D.I.	8.93	▲ 1.75	▲ 14.04	4.76	0.00	▲ 15.00	4.55	▲ 4.35	▲ 17.39	
資金繰りD.I.	▲ 8.77	▲ 15.79	▲ 5.29	▲ 19.05	▲ 25.00	▲ 10.00	9.09	4.35	13.04	
前年比残業時間D.I.	▲ 1.75	▲ 1.75	▲ 10.53	0.00	▲ 15.00	▲ 20.00	▲ 13.64	4.35	0.00	
人手過不足D.I.	▲ 35.09	▲ 21.43	▲ 17.86	▲ 38.10	▲ 45.00	▲ 40.00	▲ 27.27	▲ 9.09	▲ 9.09	
設備D.I.	▲ 7.02	▲ 8.77	▲ 10.71	▲ 9.52	▲ 15.00	▲ 20.00	▲ 9.09	0.00	0.00	
設備投資実施割合	12.73	14.81	24.56	15.00	25.00	38.10	14.29	5.00	14.29	
前年同期比	売上額	▲ 5.26	▲ 29.82	-	▲ 19.05	▲ 40.00	-	18.18	▲ 8.70	-
	収益	▲ 1.75	▲ 26.32	-	▲ 4.76	▲ 35.00	-	9.09	▲ 8.70	-
	販売価格	7.02	▲ 12.28	-	▲ 4.76	▲ 20.00	-	9.09	0.00	-



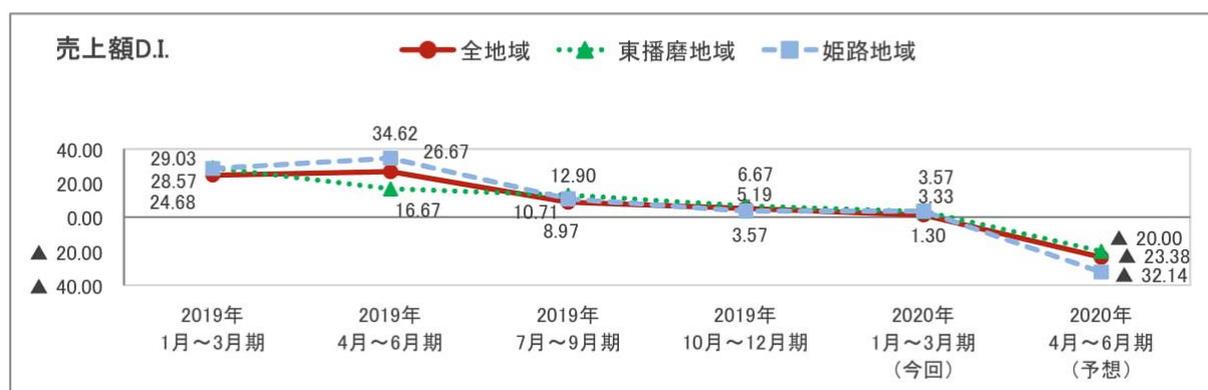
(4) サービス業

サービス業	全地域 (62社)			東播磨地域 (24社)			姫路地域 (19社)			
	2019年10月~12月期	2020年1月~3月期 (今回)	2020年4月~6月期 (予想)	2019年10月~12月期	2020年1月~3月期 (今回)	2020年4月~6月期 (予想)	2019年10月~12月期	2020年1月~3月期 (今回)	2020年4月~6月期 (予想)	
業況 D.I.	0.00	0.00	▲ 9.68	4.17	4.17	0.00	10.00	10.53	▲ 5.26	
売上額 D.I.	6.25	▲ 1.61	0.00	8.33	4.17	8.33	20.00	0.00	▲ 5.26	
収益 D.I.	0.00	▲ 3.23	▲ 1.61	0.00	8.33	12.50	25.00	▲ 5.26	▲ 5.26	
料金価格 D.I.	17.19	6.45	1.61	29.17	12.50	4.17	10.00	5.26	0.00	
材料価格 D.I.	29.69	9.68	3.23	33.33	16.67	12.50	5.00	▲ 5.26	▲ 10.53	
資金繰り D.I.	3.13	4.84	1.61	12.50	20.83	8.33	▲ 5.00	▲ 5.26	0.00	
前年比残業時間 D.I.	6.25	▲ 1.61	▲ 3.23	0.00	▲ 4.17	8.33	5.00	5.26	▲ 5.26	
人手過不足 D.I.	▲ 45.31	▲ 45.16	▲ 35.48	▲ 50.00	▲ 54.17	▲ 41.67	▲ 35.00	▲ 26.32	▲ 26.32	
設備 D.I.	▲ 12.50	▲ 11.29	▲ 11.29	▲ 8.33	▲ 12.50	▲ 12.50	▲ 10.00	▲ 10.53	▲ 10.53	
設備投資実施割合	35.82	27.69	31.82	37.04	33.33	20.83	38.10	31.58	35.00	
前年同期比	売上額	4.69	▲ 9.84	—	4.17	▲ 12.50	—	20.00	0.00	—
	収益	▲ 1.56	▲ 9.84	—	0.00	—	10.00	▲ 10.53	—	



(5) 建設業

建設業	(77社) 全地域			(30社) 東播磨地域			(28社) 姫路地域			
	2019年10月~12月期	2020年1月~3月期(今回)	2020年4月~6月期(予想)	2019年10月~12月期	2020年1月~3月期(今回)	2020年4月~6月期(予想)	2019年10月~12月期	2020年1月~3月期(今回)	2020年4月~6月期(予想)	
	業況D.I.	5.19	3.90	▲ 20.78	10.00	10.00	▲ 10.00	10.71	7.14	▲ 28.57
売上額D.I.	5.19	1.30	▲ 23.38	6.67	3.33	▲ 20.00	3.57	3.57	▲ 32.14	
受注残D.I.	1.30	2.60	▲ 23.38	▲ 3.33	▲ 3.33	▲ 23.33	▲ 7.14	▲ 3.57	▲ 28.57	
施工高D.I.	9.09	5.19	▲ 16.88	10.00	6.67	▲ 20.00	7.14	7.14	▲ 21.43	
収益D.I.	7.79	▲ 3.90	▲ 24.68	16.67	0.00	▲ 20.00	0.00	▲ 3.57	▲ 32.14	
請負価格D.I.	▲ 2.60	▲ 1.30	▲ 9.09	▲ 6.67	3.33	3.33	7.14	▲ 3.57	▲ 10.71	
材料価格D.I.	24.68	19.48	12.99	26.67	23.33	23.33	28.57	10.71	3.57	
在庫D.I.	▲ 3.90	▲ 3.90	▲ 11.69	▲ 6.67	0.00	▲ 3.33	▲ 3.35	▲ 7.14	▲ 17.86	
資金繰りD.I.	▲ 3.90	▲ 1.30	▲ 6.49	0.00	3.33	0.00	▲ 7.14	7.14	0.00	
前年比残業時間D.I.	6.49	▲ 2.60	▲ 7.79	10.00	3.33	▲ 10.00	▲ 3.57	▲ 17.86	▲ 21.43	
人手過不足D.I.	▲ 54.55	▲ 45.45	▲ 41.56	▲ 56.67	▲ 46.67	▲ 40.00	▲ 60.71	▲ 57.14	▲ 53.57	
設備D.I.	▲ 7.79	▲ 5.19	▲ 7.89	▲ 6.67	3.33	0.00	▲ 3.57	▲ 3.57	▲ 7.41	
設備投資実施割合	24.00	27.16	29.63	25.81	32.26	29.03	25.00	24.14	27.59	
前年同期比	売上額	11.84	▲ 10.39	—	6.67	▲ 3.33	—	10.71	▲ 3.57	—
	収益	6.58	▲ 11.69	—	10.00	0.00	—	3.57	▲ 7.14	—



(6) 不動産業

不動産業	(26社) 全地域			(17社) 東播磨地域			(7社) 姫路地域			
	2019年10月～12月期	2020年1月～3月期(今回)	2020年4月～6月期(予想)	2019年10月～12月期	2020年1月～3月期(今回)	2020年4月～6月期(予想)	2019年10月～12月期	2020年1月～3月期(今回)	2020年4月～6月期(予想)	
業況D.I.	17.86	▲ 15.38	▲ 26.92	0.00	▲ 17.65	▲ 41.18	42.86	▲ 14.29	0.00	
売上額D.I.	17.86	▲ 7.69	▲ 11.54	10.53	0.00	▲ 11.76	28.57	▲ 28.57	▲ 14.29	
収益D.I.	17.86	▲ 7.69	▲ 7.69	10.53	▲ 5.88	▲ 11.76	28.57	▲ 14.29	0.00	
販売価格D.I.	▲ 3.70	▲ 7.69	▲ 11.54	0.00	▲ 5.88	▲ 17.65	▲ 14.29	▲ 14.29	0.00	
仕入価格D.I.	11.54	12.00	0.00	23.53	25.00	0.00	▲ 14.29	▲ 14.29	0.00	
在庫D.I.	▲ 11.54	▲ 12.00	▲ 16.00	▲ 5.88	▲ 6.25	▲ 6.25	▲ 28.57	▲ 28.57	▲ 42.86	
資金繰りD.I.	7.14	11.54	7.69	5.26	11.76	5.88	14.29	14.29	14.29	
前年比残業時間D.I.	3.57	0.00	0.00	5.26	5.88	5.88	0.00	▲ 14.29	▲ 14.29	
人手過不足D.I.	▲ 35.71	▲ 26.92	▲ 30.77	▲ 42.11	▲ 41.18	▲ 47.06	▲ 28.57	0.00	0.00	
前年同期比	売上額	33.33	▲ 3.85	—	33.33	0.00	—	28.57	▲ 14.29	—
	収益	25.93	0.00	—	22.22	5.88	—	28.57	▲ 14.29	—

